

## 廃棄物中の 1,4-ジオキサン濃度等に係る実態調査結果について(中間報告)

### 1. 1,4-ジオキサンを含む廃棄物の排出実態調査(アンケート調査)

#### 1) 調査方法概要

昨年 8 月、平成 20 年度の PRTR 報告において、1,4-ジオキサンの事業所外への移動量(廃棄物としての移動量)の届出があった事業者(62 事業者)に対し、1,4-ジオキサンを含む廃棄物に関する排出実態調査を実施し、排出状況、廃棄物の種類(廃油、廃酸、廃アルカリ、汚泥等)、処理状況及び 1,4-ジオキサン濃度の測定結果等を調査した。

#### 2) 調査結果

平成 20 年度 PRTR 報告において事業所外への移動の届出がある事業所数及び移動量(業種別)

業 種	事業所数	比 率	移動量 (kg/年)	比 率
化学工業	48	77.4%	1,212,027	97.6%
医薬品製造業	7	11.3%	23,300	1.9%
金属製品製造業	2	3.2%	3,170	0.3%
酒類製造業	1	1.6%	1,600	0.1%
電気機械器具製造業	1	1.6%	1,100	0.1%
プラスチック製品製造業	2	3.2%	540	0.04%
繊維工業	1	1.6%	220	0.02%
合計	62	100.0%	1,241,957	100.0%

出典: H20 年度 PRTR 結果、環境省

#### 廃棄物の排出量(廃棄物の種類別)

廃棄物の種類	事業所数	排出量(kg/日)	排出量(m <sup>3</sup> /日)
廃油	60	52,000	15
廃酸	5	528	0.1
廃アルカリ	10	13,256	153
汚泥	14	8,362	30
廃プラスチック	2	4	-
金属くず	1	0.01	-
合計	92	74,150	198

※ 複数回答(廃棄物の種類)があるため、事業所数は表 1 の事業所数とは一致しない。

#### 廃棄物の処理方法(廃棄物の種類別)

廃棄物の種類	焼却	中和	資源化	埋立	その他 未回答	計
廃油	35(6)	-	23(-)	-	3	61
廃酸	3(-)	1(-)	1(-)	-	-	5
廃アルカリ	12(2)	1(-)	1(1)	-	-	14
汚泥	7(-)	-	3(-)	5(-)	1	16
廃プラスチック	1(-)	-	1(-)	-	-	2
金属くず	-	-	1(-)	-	-	1
合計	58(8)	2(-)	30(1)	5(-)	4	99

※ 括弧内は自社処理の数を表す。

複数回答(自社処理および外部委託)があるため、回答数合計は表 1 の事業所数合計とは一致しない。

## 2. 濃度測定に供する廃棄物の選定

濃度測定に供する廃棄物の選定(概要)

発生施設		廃棄物の種類	選定根拠	候補施設数	検体数
排出事業所	廃棄物	廃酸、廃アルカリ、汚泥、金属くず	PRTR	60 程度	25 程度
	上記処理物 (自社処理)	廃油、廃アルカリの処理物	実態調査 結果		100 程度
中間処理場	上記処理物 (外部委託)	廃油、廃酸、廃アルカリ、汚泥、廃 プラ、金属くずの処理物		25 程度	
中間処理場	焼却施設 (自社処理含む)	燃え殻、ばいじん		第1回 指摘事項	
	熔融施設	鉍さい			
	破碎・圧縮施設	廃プラの処理物 建廃の処理物			
下水の終末処理場		汚泥、汚泥の処理物	PRTR	6 程度	23
1,4-ジオキサンが比較的高濃度で 検出された最終処分場		埋立物	第1回 指摘事項	5 程度	10 程度
1,4-ジオキサンを含む 化学製品の製造施設		汚泥、廃アルカリ、廃酸など	文献調査	10 程度	10 程度
界面活性剤製造施設		汚泥、廃アルカリ、廃酸など			

## 3. 廃棄物に含まれる 1,4-ジオキサン濃度の測定結果

廃棄物に含まれる 1,4-ジオキサン濃度測定結果 (平成 22 年 12 月 9 日時点)

廃棄物の種類	濃度 (mg/L)	業 種	備 考
汚泥	6,500	医薬品製造業	
	25	化学工業	
	<0.05	化学工業	排水処理汚泥
	<0.05	化学工業	排水処理汚泥
	<0.05	化学工業	排水処理汚泥
	<0.05	化学工業	排水処理汚泥
	<0.05	化学工業	排水処理汚泥
廃酸	77,000	医薬品製造業	
廃アルカリ	53,000	化学工業	
	5,000	化学工業	
ばいじん	<0.05	化学工業	廃油焼却残渣

## 4. これからの対応

- ・引き続き 2. に示す廃棄物に含まれる 1,4-ジオキサン濃度を測定し、実態を把握 (調査中)。
- ・廃棄物最終処分場の排水処理プロセスにおける濃度変化も踏まえ、規制内容の検討を進めていく予定。